

富士第一小学校だより

## かじま

12月号

令和4年11月25日



校訓 『強い体 強い心』  
 学校教育目標 『しなやかに 挑み続ける ～支え合い 一歩踏み出す子～』  
 重点目標 『あなたもわたしも 笑顔いっぱい!』

## 自分も、友達も大切～温かな心で～

校長 齊藤 隆裕

12月10日は、世界人権デーです。昭和23年12月10日に、国際連合が世界人権宣言を採択したことから、この日が世界人権デーとなりました。また、12月4日～10日は、人権週間となっています。今年度の「第74回人権週間」では、啓発活動重点目標として、「『誰か』のことじゃない」を始めとして17の強調項目を掲げ、啓発活動を展開するとしています。その17の強調項目の中の一つに、「子どもの人権を守ろう」という項目があります。この項目においては、「いじめや体罰、児童虐待、児童買春などの人権問題が発生しています。子どもが一人の人間として最大限に尊重されるよう、この問題についての関心と理解を深めていくことが必要です。」と謳われています。

「人権」というと難しいことと思いがちですが、学校生活の中で人権意識をもった活動場面がたくさん見られます。今年度の重点目標「あなたもわたしも 笑顔いっぱい!」は、自分だけではない相手への思いやりと人権意識の高さが土台にあることを表しています。この目標を具現化するために、思いやりの心をもった子どもたちにしようと、「ごめんね」「ありがとう」「すごいね」「大丈夫だよ」に代表されるような、人の心を温かくする心のもった「ふわふわ言葉」をつかっていくことを答礼等の場を通して子どもたちに投げ掛け、意識付けを図っています。

また、授業においても、自分の意見や考えを言う時に、「〇〇さんの考えにつなげて、～です。」「〇〇さんの意見と同じです。」というように、友達のをよく聴いてつなげることを心掛けています。教師も、「今の〇〇さんの考えはいいですね。」「〇〇さんの意見で、この疑問が解決できたよ。」など、認め、価値付けるように心掛けています。こうすることで、発表した子どもたちは、自己肯定感、自己有用感を抱き、次もまた頑張ろうという意欲をもつようになります。

さらに、コロナ禍で制限はかかっていますが、友達と関わり合う場として、ペアやグループ活動を授業の中に位置付けています。この活動を通して、お互いの考えを認め合うことができている。

生活の場面でも、「さん」付けを徹底しているので、学校全体がとても温かな雰囲気になっています。各学級においても、朝や帰りの会で、その日に見つけた友達の良いところを発表し合う活動も行っています。教師も、学校生活の中で見られた子どもの良さを、他の子どもたちにも紹介し広げることや、一人一人の子どもの見取りをしっかりと行い、ちょっとした変化も見逃さず、早期対応を心掛け、いじめを起ささないことなどに努めていきたいと思えます。

このように、「人権」は誰にとっても身近で大切なものであり、日常生活の中で思いやりの心によって守られるものであると思えます。上記のような活動を今後も継続し、富士第一小学校の子どもたちが、温かな心を持ち、自分も友達も大切にできる子にしたいと思えます。

ぜひご家庭においても、子どもの思いやりの心を大切に、認め励ましていただきたいと思います。

さて、今月で令和4年が終わります。「年忘れ」という言葉があるように、抱えていたストレスや引きずっていたつらさや悲しさを思い切って捨て、身軽になれたらどんなにいいでしょう。しかし、「年忘れ」の一言ですべて忘れ去ってしまうのではなく、汗を流して頑張った記憶、つらさを自力で乗り越えた思い出など、大切なことを自分の記憶にしっかりとどめる、そして1年を振り返り、新しい年に向けて、決意や目標を決めることも冬休みにぜひともやってほしいと思えます。

